

議事次第

【会議名】

日本医療研究開発機構 (AMED) 委託研究「ISO/TC249 における国際規格策定に資する科学的研究と調査および統合医療の一翼としての漢方・鍼灸の基盤研究」分担研究者 (小野直哉) 平成 29 年度小野分担研究班公開シンポジウム

【日時】

2017 年 12 月 10 日 (日) 13:00～17:20

【場所】

八重洲ホール地下 B2
〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-4-13 新第一ビル
TEL: 03-3201-3631

【シンポジスト】

演者: 外部識者 (磯崎博司、高倉成男、森岡 一、田上麻衣子)
総合討論者: 分担研究者、研究協力者、JLOM 関係者

【公開対象】

主に日本伝統医療に興味のある日本国民

【目的】

知的財産の観点から、日本伝統医療に関わる遺伝資源及び伝統的知識をめぐる国内外の現状について、正確に把握するために必要な情報共有と今後必要な事柄のシンポジストによる検討を公開で行う。

【議題】

「日本伝統医療を日本の資源 (文化・医療・知的資源) として捉えるために必要な事とは? - 日本伝統医療の体系化と利活用を目指して -」と題し、日本伝統医療を知的財産と捉える際の課題と問題点の整理と検討。

【会議形式】

公開シンポジウム

公開シンポジウム

「日本伝統医療を日本の資源(文化・医療・知的資源)として捉えるために
必要な事とは? —日本伝統医療の体系化と利活用を目指して—」

【プログラム】

13:00-13:05 開会の辞:並木隆雄(研究代表者)

13:05-13:15 本公開シンポジウム趣旨説明:小野直哉(分担研究者)

13:15-13:45 講演①

演者:磯崎博司(上智大学名誉教授)

演題:「遺伝資源に関する最近の国際動向 名古屋議定書国内措置 植物遺伝資源条約」(仮)

13:45-14:15 講演②

演者:森岡 一(元国立遺伝学研究所 ABS 学術対策チームリーダー)

演題:「名古屋議定書から考える 日本伝統医学データベース」(仮)

14:15-14:25 休憩

14:25-14:55 講演③

演者:田上麻衣子(専修大学法学部教授)

演題:「CBD と WIPO における議論の状況」(仮)

14:55-15:25 講演④

演者:高倉成男(明治大学法科大学院教授)

演題:「知財立国策からの示唆」(仮)

15:25-15:35 休憩

15:35-16:35 総合討論

座長:小野直哉(分担研究者)

シンポジスト:外部識者、分担研究者、研究協力者、JLOM 関係者

16:35-16:45 休憩

16:45-17:15 まとめ

17:15-17:20 閉会の辞:並木隆雄(研究代表者)